

# 第7回全国ピアスタッフの集い

PEER

2018

## ピアスタッフは支援者か？

～ 期待と現実 ～

2018年10月28日(日) 10:00～16:15 大阪人間科学大学 庄屋学舎

### ●目的

全国のピアスタッフ(当事者スタッフ・ピアサポーター等含む)が一堂に会し、学び、交流し、情報交換をし合うことを目的とする。加えて、ピアスタッフに関心のある当事者、専門職者、行政等も交えて、日本のピアスタッフの現状と今後について考える機会をつくることを目的とする。

### ●対象

ピアスタッフ(ピアサポーター、当事者スタッフ等含む)および関心のある方(これからピアスタッフになりたいと考えている当事者、共に働いている専門職者、これから雇用しようとする専門職者、導入したいと考えている行政職者等)

### ●プログラム

9:00- 受付開始

10:00-10:50 開会式と基調講演

磯田重行(日本ピアスタッフ協会 会長)

彼谷哲志(第7回全国ピアスタッフの集い実行委員会 実行委員長)

11:00-12:20 シンポジウム

シンポジスト

柳 尚孝(森の木ファーム株式会社 支援員)

佐々木理恵(日本ピアスタッフ協会 副会長)

中本明子(NPO 法人ソーシャルハウスさかい 理事長)

コーディネーター

船越明子(兵庫県立大学看護学部 准教授)

12:20-13:20 昼食休憩

13:20-15:20 分科会

1. 地域移行とピアヘルパー～退促発祥の地、大阪から今語る～
2. 私たちのワーク・ライフ・バランス～ピアが元気であり続けるために～
3. ピアスタッフと専門職は対等な支援者か
4. ～未熟から成熟へ～育ち合う関係づくりのためのスーパービジョン
5. ピアスタッフのメリット・デメリット

15:35-16:15 クロージング

### ●参加費

事前申込

当日申込

協会正会員	2,000円	2,500円
協会賛助会員	2,500円	3,000円
当事者	2,000円	2,500円
学生	2,000円	2,500円
一般	3,000円	4,000円

※事前申込みの場合はお振込で参加費をお支払いください

※参加費には、抄録集、資料代が含まれます。

### ●事前申込みの方法

1. ホームページ(<https://psilocybe.co.jp/2018/peer/>)にアクセス
2. 申込みフォームに必要事項を入力して送信
3. 参加費を専用口座に入金

※振込先は申込み時にフォームに掲載されます

※事前参加申込みの締切りは10月4日(木)17時です



### ●アクセス

阪急京都線「正雀駅」から徒歩5分

JR 京都線「岸辺駅」から徒歩10分

飛行機の場合：伊丹空港からは公共交通機関で1時間程

※お車でのご来場はご遠慮ください(会場には駐車場はありません)



PEER

協会

【主催】

日本ピアスタッフ協会

【運営】

日本ピアスタッフ協会

第7回全国ピアスタッフの集い実行委員会

【協力】

株式会社シロシベ

【後援】

随時ホームページにて情報を更新していきます。

日本ピアスタッフ協会 第7回全国ピアスタッフの集い事務局

〒669-1513

兵庫県三田市三輪1-8-11 特定非営利活動法人あすなる 内

■Tel: 050-5435-6922

■mail: [kinki.peer.staff@outlook.jp](mailto:kinki.peer.staff@outlook.jp)



<http://www.facebook.com/peer.conference>

☆フェイスブックで随時情報発信しています！チェックしてみね

## テーマ：ピアスタッフは支援者か？～ 期待と現実 ～

大阪は、退院促進のためにピアサポーターが初めて活動した地です。ピアヘルパーが誕生した地でもあります。当事者や専門職、行政の期待を追い風に退院促進のピアサポーターは全国に広がっています。ピアスタッフは珍しい存在ではなくつつあります。ピアスタッフは支援を受ける人と対等な関係を期待されていても、偏った力関係かもしれません。また、ピアスタッフと専門職はお互いに対等な関係で仕事をしていると思っていても、安上がりな労働力に陥っているかもしれません。ピアスタッフは支援者だと思ふ人もいれば、ピアスタッフは支援者とは別ものだと思ふ人もいます。ピアスタッフが今後の精神保健福祉を変えていくねりを作るとしたら、このような期待と現実に向き合うことも必要なのではないかと考えています。

### 登壇者紹介

#### ●シンポジスト

柳 尚孝（森の木ファーム株式会社 支援員）2010年から地域移行・定着支援のピアサポーターとして勤務。2017年から自立訓練の支援員として勤務しています。ピアサポート及びピアスタッフの更なる普及・発展には何が必要かを考えながら活動しています。

佐々木 理恵（日本ピアスタッフ協会 副会長）WRAP ファシリテーター、障害福祉サービス事業所のピアスタッフとして活動しています。雇用する側-される側、お互いが疲弊しない働き方を模索中。日本でのピアスタッフの雇用拡大のプロセスに関心があります。

中本 明子（NPO 法人ソーシャルハウスさかい 理事長）精神保健福祉士。1990年からソーシャルハウスさかいの活動に携わり、ピアサポーターの養成とピアスタッフの雇用を推進しています。大阪におけるピアスタッフ雇用の先駆者の一人。

#### ●コーディネーター

船越 明子（兵庫県立大学看護学部 准教授）近畿ピアスタッフ/ピアサポーターの集い事務局としてピアスタッフの交流と自己研鑽の場づくりに携わっています。立場を超えた相互的な学びのあり方を試行錯誤しています。

### 1 地域移行とピアヘルパー～退院発祥の地、大阪から今語る～

大阪で芽を出したタイソク(退院促進支援事業)の芽が木として育ち、全国に種を散らしました。芽を出してから数えて早や18年になります。タイソクは全国に根つき、地域移行・地域定着支援に形を変え、その木は今も枝をはってこうとしています。地域定着に大きな役割をもつピアヘルパーの発祥の地もここ大阪です。当分科会では、制度の変遷にピアスタッフがどのように関わってきたか、現在はどのように取り組んでいるのかを課題も含め、皆様と一緒に考えたいと思います。

前田伸一（ピアサポートセンター堺）、赤澤嘉信（社会福祉法人あつと萌夢フレンドハウス）、尾上智子（特定非営利活動法人精神障害者支援の会ヒト）、今川亮介（社会福祉法人新生会）、坂井宗月（特定非営利活動法人中央むつみ会）、栄セツコ(桃山学院大学社会学部)

### 2 私たちのワーク・ライフ・バランス～ピアが元気であり続けるために～

ピアスタッフは仕事でも普段の生活でも精神障害と向き合っています。『仕事と生活全てが精神障害だと障害から離れられないのでは？』『障害を忘れられる時間はあるのか？』『onとoffのバランスは？』また『仕事を持つ事でプラスになれる部分』等、シンポジウムとグループワークを通して【ワーク・ライフ・バランス】から広がる繋がりを皆さんと一緒に考えていきたいと思います。ピアスタッフになりたい方・ピアスタッフでない方も是非ご参加下さい。

岩谷潤（メンタルヘルス診療所しほふぁーれ）、面高陽子（特定非営利活動法人ハートフル障害者相談支援センター輪っふる）、笠原健（特定非営利活動法人中央むつみ会）、北村和孝（ピアサポートセンター堺）、中野千世（地域活動支援センター櫻）

### 3 ピアスタッフと専門職は対等な支援者か

皆さんの職場ではピアスタッフといわゆる専門職と呼ばれる人たちは対等な関係で働いていますか？お互いの専門性を尊重しながら一緒に働き、本人を共に支えていく「協働」の実践について考えたいと企画しました。就労支援の事業所と啓発活動という異なる現場での実践報告を通じて、ピアスタッフと専門職の協働と対等な関係について考えてみませんか。この分科会はとくに専門職の参加をお待ちしています。

勝井邦枝（NPO 法人日本学び協会ワンモア八尾）、金山達也（NPO 法人日本学び協会ワンモア豊中）、杉山更紗（医療法人藤樹会障害者相談生活支援センターやすらぎ）、尾畑矩美子（ピアサポート WISH）

### 4 ～未熟から成熟へ～育ち合う関係づくりのためのスーパービジョン

今、日本中の職場で孤立して勤務していたり、悩みを誰にも相談できなくて苦しんでいるピアスタッフがいるかもしれません。「仕事やプライベートのことを誰に話したらいいんだろう。」そんな声をよく聞きます。この分科会ではピアスタッフのスーパービジョンについて取り上げ、またどのように構築していけばいいのか模索します。みんなで考え、ピアスタッフが長く活き活きと働くことができる関係作りのヒントが見つければ幸いです。

磯田重行（株式会社リカバリーセンターくるめ）、相川章子（聖学院大学人間福祉学部）、西村聡彦（日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科）、大石泰治（株式会社リカバリーセンターくるめ）

### 5 ピアスタッフのメリット・デメリット

私たちは、福祉事業所で働くスタッフの約7割が精神疾患等当事者です。当事者主体で運営を始めて4年目となりました。この分科会では、運営の中から見えてきた「ピアスタッフのメリット・デメリットや実践」をシンポジウム形式で発表します。また、医療従事者から見たピアスタッフの必要性、雇用する立場から、他事業所の国家資格を有するピアスタッフの様々な視点も交え、「ピアスタッフは必要な支援者か」を考えていきます。

稲垣麻里子（多機能型事業所 PEER+design）、盛合祐己（多機能型事業所 PEER+design）、中島邦宏（旭川地域生活支援センター）、小笠原啓人（林下病院）、矢部滋也（北海道ピアサポート協会）